

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	2
学年	1年	類型	流通経済科・情報ビジネス科・地域ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	明解 世界史A (帝国書院)				
副教材(出版社)					
授業の概要	教科書に沿って、本文中の内容を理解する。概論だけでなく、歴史的人物や文化・芸術、トピックを踏まえながら、世界史を学習する。				
授業の目標	世界の歴史を様々な資料を通して理解し、現代の諸課題を歴史的観点から考察することによって、歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を育てる。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	1 前近代の諸文明 (1) 人類の始まりと東アジアの文明 (2) 南アジア世界・東南アジア世界 (3) 西アジア・北アフリカの文明 (4) ヨーロッパの文明 (5) 南北アメリカの文明 (6) ユーラシアの交流圏	・地域の自然環境や風土の違いによって生まれた諸文明について、東アジア、南アジア・東南アジア、西アジア・北アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカそれぞれの地域的なまとまりからその歴史的展開を理解する。		
	2 学期	2 一体化に向かう世界から、欧米の工業化とアジア諸国の動揺 (1) 繁栄するアジア (2) 大航海時代と新たな国家の形成 (3) ヨーロッパとアメリカの諸革命 (4) 自由主義とナショナリズムの進展 (5) アジア諸国の動揺 (6) 東アジアの大変動	・近現代社会を理解するための前提となる16世紀以降の世界商業の進展及び資本主義の確立を中心に、世界が一体化に向かう過程を世界の動向と日本とのかかわりに着目しながら理解する。		
	3 学期	3 世界大戦から地球社会へ (1) 現代世界の芽生え (2) 第一次世界大戦 (3) 第二次世界大戦 (4) 冷戦の時代 (5) 地球社会への歩み	・地球規模で一体化した構造をもつ現代世界の特質とその展開の過程を理解し、人類の課題について、世界の動向と日本とのかかわりに着目しながら歴史的観点から考察する。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとしている。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化に留意しながら公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有効な情報を選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄や地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに定期考査までの学習のまとめりに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				